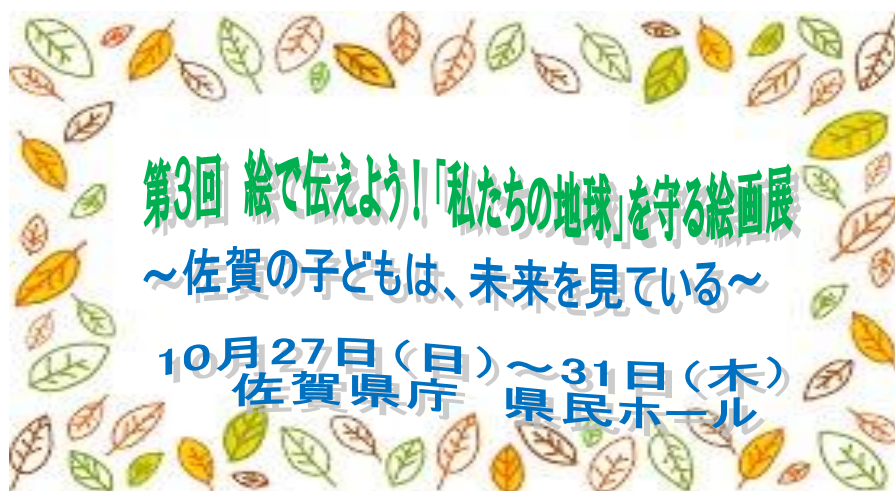


SDGsとは、“世界を変える17の目標”です。“誰一人取り残さない”



◆2019年度、「第3回 絵で伝えよう『わたしたちの地球』を守る絵画展」を佐賀県ユニセフ協会主催、佐賀新聞社共催で、県民ホールにおいて開催しました。今年は、昨年より100点ほど多くの作品応募がありました。徐々にSDGsの周知も進んでいるものと実感しています。(下記が今年度の応募数です。)

学年分類	小学低学年	小学中学年	小学高学年	中学生	応募総数
応募数	28点	37点	68点	185点	318点

* 20市町全部からの応募がありました。

* 小学校 25校、中学校 12校、合計 37校からの応募がありました。

SDGs 絵画展の主旨は、

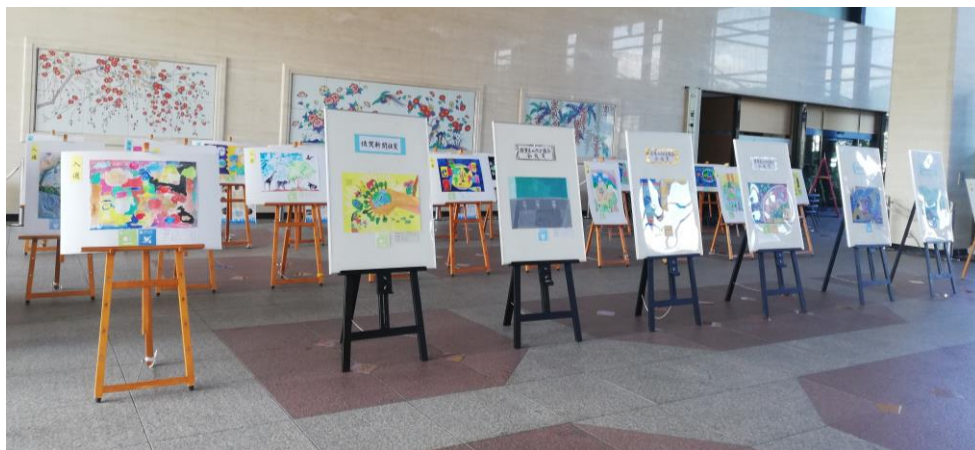
2030年の地球を
ユニセフとともに
考えよう

- ◆地球上のすべての命は大切なもの。また、みんなが住む地球も1つしかない大切なものです。

その地球には解決しなければならない課題がたくさんあります。貧困や飢餓、紛争や自然災害などで地球上のたくさんの人々が命の危機に直面しています。今地球上のみんなが知恵を出し合い、「人間がずっと地球に住み続けられる未来」をつくるにはどうしたらよいか、しっかり考え、行動を起こし、解決策を見出していかなければなりません。

国連では2015年に「2030年までの世界の共通目標（SDGs）」17の目標を決めて、2030年までに課題が改善するように推進をしています。

- ◆ 佐賀県ユニセフ協会では、17の目標の中から、自分にできることやみんなで取り組みたいことを考え絵に表すことを通して、「私たちの地球」を守ろうという気持ちを育てたいと考え、この絵画展を開催しています。



【絵画展示の様子】

★SDGs 絵画展 表彰式

10月27日（日） 11:00～12:00 （佐賀県庁 県民ホール）

- ① 主催者の挨拶 （中尾清一郎会長より）
- ② 入賞者の表彰 個人30名、学校賞3校、
- ③ 審査講評 （井上信宏審査員より）
- ④ ミニ研修『SDGsで世界のみならず未来をつくろう』
- ⑤ 記念撮影



国連の温暖化サミットでは、スウェーデンの少女グレタ・トゥーンベリさんが、地球温暖化対策を厳しく訴えていました。私たちは矛盾を抱えるが地球を守る行動は重要です。皆さんの作品からも啓発されました。

【挨拶をする中尾会長】



【小学生の表彰の様子】



【中学生の表彰の様子】

◆表彰式では、佐賀県ユニセフ協会の中尾会長が、以下の入賞者1人1人に賞状と賞品を手渡しました。
入賞おめでとうございます。

- *日本ユニセフ協会会長賞 (5年 三原杏樹さん)
- *佐賀県ユニセフ協会会長賞 (2年 泊 和歩さん、6年 原田美玖さん)
- *佐賀新聞社賞 (4年 泊 佳音さん、中1 江口花奈さん、中2 久保陽菜々さん)
- *入選 12名 *佳作 12名
- *学校賞 3校 (唐津市立打上小学校、佐賀市立三瀬中学校、龍谷中学校)



【井上先生による審査講】

SDGsについてもよく耳にするようになり、今回は中学生の応募が大変多く、作品の質が高くなってきた。メッセージ性の強さを観点において審査した。
日本ユニセフ協会会長賞の三原さんの作品は刻々と変わる環境を砂時計で上手に表現し、時間がないという願いが伝わった。



【ミニ研修会『SDGsで世界のみんと未来をつくろう』を視聴する参加者】

★入賞作品の展示

10月27日（日）～10月31日（金）9：00～17：00（佐賀県庁 県民ホール）



【優秀作品の展示を見る参加者】

DG s 広報⇒「SDG 輪投げ」で遊ぼう

◆表彰式会場には、SDG s 広報として「SDG s 輪投げゲーム」や「SDG s ルーレット」、「SDG s 広報板」を合わせて展示していました。表彰式に訪れた子どもたちは、始まるまでの時間を輪投げゲームなどで楽しみました。輪の入ったところの目標を描いた手作りしおりもプレゼントしました。



【SDG s 輪投げゲームで遊ぶ子ども達】

★入賞者の集合写真



【SDG s 絵画展 受賞者の記念撮影の様子】

★SDG s ミニ研修

◆表彰式には、保護者や関係者の方々も多く出席してくださいました。佐賀県全域から、受賞者は勿論、引率の保護者や受賞された学校の先生方もおいでいただきましたので、『SDG s で世界のみならず未来をつくろう』という表題でミニ研修を行いました。

説明や動画を見て、参加者の皆さんは大変勉強になったと感想を述べられていました。主催者側としては、多くの皆様に子どもたちの絵を見ていただき、SDG s (=持続可能な開発目標) の重要性を発信することができました。今後は、1人1人が自分にできるはじめての一步を考え、実行していくことこそ「人間がずっと地球に住み続けられるように開発・発展する」ことにつながると思います。

*世界に広めよう「持続可能な開発目標 (SDG s)」2016 の動画では、エマ・ワトソンさんが「DG s の推進にはあなたの力が必要です。」と力強く呼びかけました。

*戦争で片足をなくしたシリアのサジャさんは、前向きに生きている姿が感動的でした。

*スウェーデンのグレタさんは、“私たちの家は燃えています”と温室効果ガスの排出を止めることを強く訴えました。

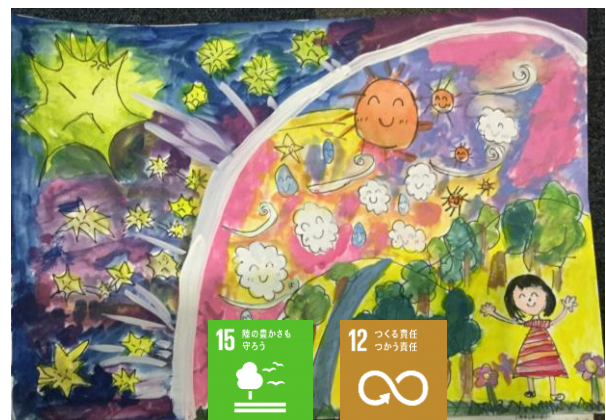


★ 絵画展優秀作品

<日本ユニセフ協会会長賞>
5年 三原杏樹さん



<佐賀県ユニセフ協会会長賞>
2年 泊 和歩さん



<佐賀新聞社賞>
6年 原田美玖さん



<佐賀新聞社賞>
4年 泊 佳音さん



<佐賀新聞社賞>
中学1年 江口花奈さん



<佐賀新聞社賞>
中学2年 久保陽菜々さん>

